

# 共和の郷・おだ

広報 第119号  
平成25年10月1日発行

自治組織「共和の郷・おだ」、小田地域センター 739-2207 広島県東広島市河内町小田 2182

TEL: 082-438-0166 ホームページ <http://kyouwanosato-oda.com/admin>

E-mail [oda-k@city.higashihirosima.hiroshima.jp](mailto:oda-k@city.higashihirosima.hiroshima.jp)

## 第28回小田営農収穫祭り・八幡神社秋祭り

収穫の秋がやってまいりました。環境にやさしい小田地域では、体験できる収穫祭りを行います。春に田植えやサツマイモ植えを体験された方、収穫を体験してみたい方、ご家族お揃いでのご参加をお待ちしています。収穫したサツマイモは1袋無料でお持ち帰りできます。安心・安全な農産物の収穫体験(稲刈り・サツマイモ掘り)など楽しいふれあいの「小田営農収穫祭り」と、伝統の小田神楽、巫女の舞、みこしなど見たりして「八幡神社秋祭り」を楽しんでください。また、神楽終了後に賞品が当たる抽選会を行いますので、最後までお楽しみください。



巫女の舞い (昨年)

日時 平成25年10月20日(日) 10時～16時

場所 寄りん菜屋周辺及び小田八幡神社

お問い合わせと申込先

(農)ファーム・おだ TEL(FAX 兼)082-438-0987

小田地域センター TEL(FAX 兼)082-438-0166

寄りん菜屋 TEL(FAX 兼)082-438-1020

※当日は小田米の炊き込みご飯と豚汁等を用意しています。

小田住民の方のみ参加費無料なので小田八幡神社で受付してください。

【「炊き込みご飯・豚汁」の無料食事券】と【八幡神社大祭り抽選番号の券】をお渡しします。

### 前夜祭19日20時(小田八幡神社にて)巫女の舞、こども神楽、奉納神楽、

内容 (寄りん菜屋会場)

9:30 ~ 五穀豊穰感謝祭

10:00 ~ 開会式

10:10 ~ ふれあい収穫体験

・稲刈り(カマの用意あり)

・サツマイモ掘り(掘った芋は1袋持ち帰り可)

11:40 ~ みこし出発(寄りん菜屋と7組集会所より)

(小田八幡神社会場)

12:15 ~ 参拝行事

12:30 ~ 昼食 ○寄りん菜屋(小田米の炊き込みご飯、豚汁)

○なかよし会(おでん、飲み物、おもちゃ、他)

○パン&マイン(米粉パン販売)

13:30 ~ 神楽奉納 小田神楽保存会

(巫女の舞・子ども神楽・八岐大蛇他)

神楽終了後 抽選会

16:00 ~ 閉会式

第28回 小田営農収穫祭り実行委員会

主催 農事組合法人「ファーム・おだ」、小田八幡神社

共催 自治組織「共和の郷・おだ」、小田地域中山間直接支払制度運営委員会、寄りん菜屋、なかよし会、小田地域センター

# 小田地区敬老会(報告)

台風18号の影響で、パラパラと雨の振り込みがある中、平成25年度小田地区敬老会が地域センター大ホールで開催されました。

敬老者145名中、87名のご出席を賜りました。東広島市 河内支所長上田広之様を始め、高橋典弘・乗越耕司市議会議員様、小山盛次・中川 稔民生児童委員様、植村義明小田郵便局長様、河内西小学校堀岡輝行校長様他多くの来賓にもお越し頂きました。

受付を済まされた敬老者には、まず、女性部を中心とした有志により手作りのコサージュを選んで胸に付けて頂きました。「男もつけていいんかい?」と云われる男性陣、「どれがいいか、迷うねえ」と云われる女性陣、それぞれの胸元が華やかに彩られました。後は、全員揃っての記念撮影です。

引き続き、瀬川豊茂会長の挨拶などにより厳かな中にも心温まる式典が進行いたしました。玉川光則様が敬老者を代表してお礼の言葉を述べられ、式は無事終了しました。その後は、寄りん菜屋で作ったお弁当を頂きながらの歓談と、様々なアトラクションが行われました。

澄み切った声の女声コーラス、小田地区の小学生17名による自己紹介とダンス、小田舞踊クラブによる日本舞踊に末岡喜京様によるハーモニカなど、あっという間に時は過ぎました。

「今日は嬉しかったわいや」と声かけしてくださる方々の笑顔が、台風一過の秋空をより明るくしてくれたような気がいたしました。

どうぞ皆さま、いつまでもお元気で……！！

最後になりましたが、会の開催に際し、幾日にも亘り様々なご協力とご心配を頂きました皆様に改めて御礼申し上げたいと存じます。大変お世話様になり、ありがとうございました(\*^\_^\*)

自治組織「共和の郷・おだ」(女性部)



住原正弘副会長による万歳三唱



カントリーエコーズのコーラス



末岡喜京様ハーモニカ演奏



河内西小学校 小田地区児童17名の発表



小田舞踊クラブの皆さん

# NHKE テレ (教育テレビ) 放映(ご案内)

平成25年8月5日～7日の3日間、小田地域の自治組織「共和の郷・おだ」や農事組合法人「ファーム・おだ」、「パン&マイム」、「寄りん菜屋」、「小田地域センター」等についてNHKから取材がありました。そのときの内容の一部が放映されることになりました。

日時 平成25年10月5日(土) 14:00～15:00

放送局 NHKE テレ (教育テレビ)

番組内容 TV シンポジウム「日本農業の選択 食と農の未来をどう築くか」

グローバル社会は豊かさをもたらしたが、一方で日本の地域を守ってきた小規模農業を脅かしている。地域の農業を活性化しながら「競争する農業」にどう対処していくのか。農業保護政策は本当に必要なのか。日本の農業と食に未来はあるのか。農産物の輸出大国に成長したオランダや農業の持続政策を実践しているフランスの実態を紹介しながら、食料危機が予測される中での日本の農業の将来像を探り、具体的な生き残り策を考える。

出演者 【パネリスト】東京大学名誉教授 神野直彦、東京大学大学院教授 鈴木宜弘  
作家、エッセイスト 森 久美子、全国農業協同組合専務理事 富士重夫、  
【司会者】元 NHK アナウンス室長 山根基世

自治組織「共和の郷・おだ」(総務企画部)

## 市民協働のまちづくりに係る「地域担当職員制度」(お知らせ)

住民自治協議会の設立が46地区となり、市民協働のまちづくりに対する機運が醸成されつつあります。市民と行政が協働して「新しい公共の拡大」に対応するため組織的に取り組めるように「地域担当職員制度」がつけられました。

今年度、自治組織「共和の郷・おだ」の担当は、平賀京治様(班長)と土肥和彦様(副班長)が小田地区を担当されます。地域情報や地域課題を共有し、また行政情報の提供を受けるなどして、地域と行政が協働してまちづくりを進めて行きたいと思えます。

また、8月1日より市民協働のまちづくりを推進する拠点として、地域で活動している団体の相談窓口として市民協働センターが東広島市役所の北館1階に設置されました。

自治組織「共和の郷・おだ」(総務企画部)

## 4回 野菜づくり教室(9月19日報告)

今年度最後の野菜づくり教室がおこなわれました。農事組合法人「ファーム・おだ」から若い後継者にも参加いただきました。たまねぎの病気や、ホウレンソウの栽培等の質問があり、今中義彦先生(東広島市園芸センター)に指導していただきました。

ハクサイ、アスパラガス、大根、ホウレンソウなど秋野菜の栽培管理について、今年の天候や小田地域の土地の特性を考慮して説明していただきました。

- ・保湿を効果的にする方法
- ・追肥のやり方
- ・ヨトウ虫など害虫対策
- ・薬剤の使用法

など沢山の参考資料を用意して分かりやすく説明していただきました。

「寄りん菜屋」(生産部会)、自治組織「共和の郷・おだ」(農村振興部)、小田地域センター



今中先生の簡潔で分かりやすいお話

## 第6回 自治組織親善スローピッチソフトボール大会開催(報告)

開会式で「若いとき野球をやった面白さ、醍醐味は誰でもお持ちのことと思います。しかし、歳をとってからは若いときのように楽しむことは不可能です。そこで60歳以上のシニアの方でも、野球を楽しく安全にプレーできるようにルールや用具を改良したのがスローピッチソフトボールです。主なルールは、①危険なクロスプレーを避けるためダブルベースを使う。(守備用の白色ベースとランナー用赤色ベース)②投手は山なりの投球をする。③ボールは大きめ(14インチ)④2ストライクからファールするとアウトになる。」など説明された。

9月23日、河内町民グラウンドで河内町内6地区の自治組織から各1チームの6チームが参加して大会が行われました。小田はAゾーンの準々優勝(3位)でした。

小田地域センターでバット2本、ボール6個そろえていますので練習にご利用ください。今後高齢者の野球として盛んになっていくことでしょう。



小田から1チーム参加しました

自治組織「共和の郷・おだ」(体育健康部)

## 第1回 共和の郷・おだ ひろしま森づくり実行委員会(報告)

平成25年9月22日小田地域センターで行われました。実行委員会は(自)共和の郷・おだの役員代表、各組代表委員、(農)ファーム・おだ、寄りん菜屋、小田史跡調査会の各代表で構成されています。

次の項目について協議され決定されました。

- (1) 地域資源保全活用プラン(溜池への管理道の枯れた松を切る。イノシシからの被害防止のための緩衝帯の設置。小田城跡地周辺の整備(登山道、階段の設置、サクラの植栽、展望台の補修~)
- (2) 平成25~28年事業の推進計画について
- (3) 実行委員会の規約について
- (4) 役員を選任について



4年間、お世話になります

共和の郷・おだ ひろしま森づくり実行委員会事務局

## 酒井紀子先生の 第4回 健康づくり教室(ご案内)

体力テスト実施 (健やかな毎日を)

健康づくり教室では、スムーズに動ける体をつくることを目当てに、家でも手軽にできる効果的な運動を学習してきました。今回は体力テストを実施しその結果の活用方法や、個別にどんな運動をしていくと効果的か指導していただきたいと思ひます。

と き:平成25年10月22日(火)13:30~15:00

ところ:小田地域センター大ホール

内 容:体力テスト実施

講 師:酒井紀子先生

持参物:汗拭きタオル、普段はいている運動靴、お茶は用意しています



体力測定の様子(昨年)

自治組織「共和の郷・おだ」(白竜部)、小田地域センター

# 小田ビジョン策定委員会(お知らせ)

10年後の小田の姿をめざして

平成25年9月20日、東広島市市役所地域政策課(岡田係長、佐藤主任、薦田直紀専門員)からもご参加され、第1回小田ビジョン策定委員会が開かれました。公募や推薦された方を含め25名の構成員で小田ビジョン策定委員会が発足しました。



「今なぜ、小田ビジョンづくりが必要か」薦田直紀専門員様からご指導いただきました。そのほかに自由討議や規約などについて話し合われました。

小田地域中山間直接支払制度運営委員会、自治組織「共和の郷・おだ」(総務企画部)

ありがとうございました。

ご寄付は「共和の郷・おだ」の活動のため、有効に活用させていただきます。

お見舞い返し 9月 本田照義 様

9月 木村幸子 様

9月 水野桃枝 様

自治組織「共和の郷・おだ」 会 長 瀬川 豊 茂

福祉ふれあい部 部 長 西川 芳 子

## 小田史跡めぐりウォーキング(ご案内)

秋のさわやかな風に吹かれながら「小田史跡めぐりウォーキング」を行いたいと思います。歩くことは健康を保つ上で最良の方法です。また、小田の史跡をめぐり、ふるさとに伝わる民話を子どもと一緒に聞くのも良いと思います。こういった行事に参加することで小田の地域の特色や、郷土史を子どもたちに伝えて行きたいものです。皆様の参加をお待ちしています。



史跡めぐりウォーキング(昨年の様子)

日 時 平成25年10月26日(土)

集合場所・時間 小田地域センター 9:00~

目的地 ・正反田池、・三角点(国土地理院が設置、測定の基準点)の見学

・白土山(遠くまで展望でき、見晴らしのよいところです。)

解 説 小田史跡調査会

終了予定 11:00

持参物 汗拭きタオル、帽子、(児童は「学ぶちゃんノート」)

その他 雨天の場合中止いたします。飲み物とおむすびを用意いたします。

問い合わせ 小田地域センター 電話 438-0166

自治組織「共和の郷・おだ」(文化教育部)

小田史跡調査会、小田地域センター

# パン&マイム、サタケと共同で販売

## ギャバ米(ガンマーアミノ酪酸)をパンに



ギャバ米を使い試作したパンの出来を確認める  
パン&マイムの従業員

### ギャバ米 パンに変身

東広島 来月にも専門店開店

農事組合法人フアイム・おだ(東広島市)と、精米機など製造のサタケ(同市)が、健康に良いとされるGABA(ガンマーアミノ酪酸)を多く含むギャバ米を使った米粉パンの開発を進めている。10月中旬までに東広島市内に専門店を出す予定で、コメの消費拡大

につなげる。同市河内町で栽培したフアイム・おだのコメを使い、サタケの加工装置でギャバ成分を増やす。パン作りはおだが運営する同町のパン工房「パン&(と)マイム」が担う。菓子パンや雑菜パンを試作中で、もちもちした食感や味の仕上げを急い

でいる。

専門店は、ギャバ米むすびを売るサタケの西条町の店舗と同じ敷地内に共同で設ける。当面は20種類ほどを販売する予定。

ギャバ米は血圧を下げる効果などがあるとされる。認知度を高めたいサタケがおだに製造を打診。昨年からは米粉パンを販売しているおだも、付加価値の高い商品を作りたいと共同で取り組んだ。両者は「健康志向の高まりに合わせた独自のパンで、コメ離れを食い止めたい」としている。(新山創)

平成25年9月25日

中国新聞より引用

パン&マイムより

## 金婚式をお迎えの方 (お知らせください)

今年、めでたく金婚式をお迎えの方に、記念品と表彰状をお送りしてお祝いしたいと思います。昭和38年に結婚された方です。準備の都合で10月10日までに、各組の福祉ふれあい部、または、代表委員の方で小田地域センター(電話438-0166)までお知らせください。(自)「共和の郷・おだ」福祉ふれあい部で、11月17日農産物品評会の時に金婚者の方に記念のお品を添えて表彰を行います。

自治組織「共和の郷・おだ」(福祉ふれあい部)

## 河内西小学校通学合宿(報告)

平成25年9月24日、25日、26日の2泊3日、5年生と6年生15人が小田地域センターで合宿して学校に通学しました。河戸、戸野、宇山、小田の4地区の地域センターが合同で行いました。

子どもたちの食事は、たんぼぼ(Vグループ)の皆さんにご支援いただきました。子どもたちは小田地域センターで3日間寝食を共にし、学校や家庭とは異なった場所で、宿題、遊び、食事づくり、入浴、肝だめし、ボールゲームなど楽しく過ごし、小学生時代の楽しい思い出のひとつになればと思います。



玄関に集合して「いってまいります。」